

江戸川乱歩の『孤島の鬼』

クィア・リーディング研究会
第2回ワークショップ

ジェラルド・ブルー
(セルジー・ポントワーズ大学)

2016/7/15 (金) 17:00~

立命館大学衣笠キャンパス敬学館 234号室

に於ける読書論

とジェンダー論

日本文学の上にクィアな視線を注ぐ、そのような願いで始まりましたクィア・リーディング研究会の第2回ワークショップを開催します。今回は江戸川乱歩研究のフランスでの気鋭の研究者、ジェラルド・ブルー氏をお招きしました。乱歩のテキストにほどこされる万華鏡のようなめまいを体験したいと思います。

講演：ジェラルド・ブルー氏 (セルジ・ポントワーズ大学)

1973年生まれ。セルジ・ポントワーズ大学准教授。明治、大正、昭和における日本文学と大衆文化について特に探偵小説やエログロナンセンスの観点から研究。その他、移民文学や翻訳文学、ジェンダー研究など幅広い分野で研究を進めている。

おもな論文としては *Cadavre vivant et pantin désarticulé : Souffrance et reconfiguration des corps dans l'œuvre d'Edogawa Ranpo* (Saint-Denis, Presses Universitaires de Vincennes)(2015)

「江戸川乱歩のミセモノ的書き方—戦前日本探偵小説の可能性」(お茶の水大学)(2008)など。

ディスカッサント：サラ・フレデリック氏 (ボストン大学)

主催：JSPS科研費・基盤研究(C) **科研費**
KAKENHI

「クィア理論と日本文学—クィア・リーディングの可能性と実践」(研究課題番号：16K02614)

共催：立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会